

宮本 たかし

福井県議会議員

県政 **NEWS**

宮本 たかし 事務所

〒915-0876 福井県越前市白崎町 73-1-3 3F
電話・ファックス **0778-22-6633**

2022
新春号
Vol.28



明けましておめでとうございます
皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと
心よりお慶び申し上げます。
昨年も新型コロナウイルスに翻弄された一年となりました。
一日も早い終息を願うと共に、県内においても変異株
の拡大が見られ、特段の注意が必要となっています。
どうか引き続き、お話はマスク等の対策の励行
をお願い申し上げます。
八月に拝命致しました副議長もおかり様で、就任はや
六ヶ月となり、議長をお助けする形で議会全体のまとめ
役として忙しい日々を送っている所です。またまた未熟では
ございますが、今後共、倍旧の御指導・御鞭撻を賜りま
すようお願い申し上げます。

宮本 俊



令和3年度12月 補正予算について

平成3年度補正予算は閉会日までに総額39億円の提案がなされ議会の同意と共に成立いたしました。特徴的なのは金額の大きさ。通常12月議会ではあっても小規模な予算が多いのですが、今回は引き続きの感染予防対策やコロナ禍で疲弊した県内経済を支援するための予算が盛り込まれ、非常に大きなものとなっています。また、減額分については人事委員会勧告を踏まえ一般職と議員を含む特別職の期末手当の引き下げによるものです。



これら補正予算により令和3年度一般会計12月現計予算(12月末現在の予算累計)は、同様に膨れ上がった昨年同時期の予算を**314億円(約5.4%)**も上回る**6,104億円**となりました。

コロナウイルス
感染対策費

県内経済支援費

コロナウイルス
ワクチン接種強化事業

Go To イートで
飲食店を応援

コロナに負けるな!
県民を支援



コロナ関連支援

中小企業等における
感染拡大防対策事業

中小企業のコ
ロナ感染予防策
に助成金が出
ます。



Go To イートのHP

5,000円で
6,000円分使用
出来るチケット
が購入出来ます。



ふく割のHP

ふく割を使用
すると福井県で
お買い物がで
きます。



※感染状況により変更の
可能性があります。

(単位: 100 万円)

会計区分	既決予算	R3年度				R2年度 12月現計 (B)	増減 (A)－(B)	対前年度 伸び率 (A)/(B)
		12月補正予算			現計予算 (A)			
		通常分	感染症対策	計				
一般会計	606,474	▲887	4,816	3,929	610,403	578,979	31,424	5.4%
特別会計	74,490				74,490	74,424	66	0.1%
企業会計	42,584	▲78		▲78	42,506	44,050	▲1,554	▲3.5%
計	723,548	2,825	4,816	3,851	727,399	697,453	29,946	4.3%

以下にこれら補正予算にて執行された事業について主なものを記述します。吹き出し内は私の解説となります。

新型コロナウイルスワクチン接種体制強化事業: 2億2,000万円

ワクチンの追加接種を効果的に進めるため、接種会場の規模的、数的増加を意図し、医療機関や市町に対し支援を行う。



接種体制を強化するため接種回数の増加を図る医療機関や交通費補助を行う市町を支援する従来からあった同事業が12月末で期限を迎えるため、その期間を令和4年9月末まで延長する予算です。オミクロン株の感染拡大に備え3回目のワクチン接種も視野に入れた事業となります。

PCR等検査無料化事業: 15億6,000万円

民間検査機関等における検査にかかる費用を支援し、感染症対策と日常生活の回復の両立を図る。



今後は感染拡大と行動制限の緩和の取組を両立して進めていくという方針が国において決定されています。その有効な手段としてとらえられているのがワクチン・検査パッケージです。施設などの利用者のワクチン接種歴または検査結果の陰性のいずれかを確認することの活用により人数制限等の緩和を行うこととされています。持病や既往症の関係でワクチンを接種できない方へはPCR検査を受け易くし、陰性の確認により日常生活を取り戻す一助として頂きたいと思います。

福井県版GoToイート飲食店応援キャンペーン事業: 3,300万円

GoToイートキャンペーンの事業期間を延長します。
販売期間: 令和4年1月31日まで 利用期間: 令和4年2月28日まで



飲食店にとっても利用者にとっても評判のいい事業です。これにより飲食店に対しコロナ禍が与える経済的悪影響が少しでも緩和されればと考えています。

中小企業者等事業継続支援金: 10億2,600万円

福井県緊急事態宣言の発出などにより、売上が大きく減少した事業者の事業継続を強力に支援。令和3年1~9月のいずれか1か月の売上が前々年または前年同月比大きく減少した事業者に支援金を交付。
50%以上減少した月=10万円/月 30%~50%減少した月=5万円/月 最大6か月/60万円



当初見込まれた予算を12月末にて使い切ってしまう状況につき事業費の追加設定となります。コロナ禍により大きく売上を落とした飲食店のオーナーの方には是非とも申請して頂きたい予算です。詳しい点について質問あれば宮本までお問い合わせください!



県政メモ21:並行在来線について

最近よく聞く「並行在来線」という言葉ですが、その制度的背景や各地に存在する企業の現状については意外と分かっていないものです。ここで、福井県においても令和6年春には誕生する並行在来線についておさらいしてみたいと思います。

並行在来線とは？

並行在来線とは一般的に、JRによる新幹線開業に伴い経営分離(払い下げ)された新幹線と並行して走る路線と、その運営のための第3セクター企業のことを言います。1990年に「新幹線が建設着工する区間の並行在来線は、開業時にJRの経営から分離することを認可前に確認すること」が国において決定されており、新幹線の開業に伴いそれまでの在来線の利用客が新幹線に移ることで、収益構造の悪化が見られる在来線をJRから経営分離することを条件に新幹線の整備が進むと言っても過言ではないと考えられます。ちなみに都市部などの元々収益性の高い在来線についてはJRは経営分離を行う必要はなく、事実、信越本線高崎-横川間などは新幹線開業後もJRにより運営がなされています。



並行在来線の意義と自治体の支援

このように収益性が悪いとJRから分離され、第3セクターとして自治体に経営が引き継がれる並行在来線ですが、これらの路線は新幹線開業後も通勤・通学など県民の方々の日常の足としてなくてはならないものでもあります。従って

大きな負担を伴う形にはなりますが、県を始めとして自治体ではこの並行在来線を今後もしっかりと維持・存続すべく2021年10月26日には「福井県並行在来線経営計画」が決定され、並行在来線企業への支援内容も明らかになっています。会社設立にあたっての資本金の出資額と割合は右の通りです。

(単位: 億円)

出資者	出資割合	出資金額		
		第一次(R1)	第二次(R4)	計
県	70%	3.5	10.5	14.0
市町	20%	1.0	3.0	4.0
民間企業	10%	0.5	1.5	2.0
小計		5.0	15.0	20.0
鉄道・運輸機構			出資時期調整中	6.2
合 計				26.2

並行在来線の経営安定化のために

将来にわたって安定的に経営を維持し本線を運営していくためには、前述の自治体からの支援も不可欠ですが、地域と連携しながら、鉄道利用を促す様々な取り組みや収入確保策を行っていくことも重要です。そのため、地域に密着した鉄道へと生まれ変わり、並行在来線会社、県、市町、地域が一体となって、自らの鉄道「県民鉄道」という意識をもって、魅力あふれる鉄道づくりを進めていく以下のような施策の推進が必要となります。

- ① 誰もが利用しやすいダイヤの編成
- ② 観光・イベント列車の運行
- ③ 誰もが利用しやすい環境づくり
- ④ 駅へのアクセス向上等
- ⑤ 新駅の設定



特に、⑤においては王子保駅と武生駅の間にも新駅の設定が検討されています。この新駅により並行在来線に乗る方が増え、経営安定の一助になることは元より、地域における街づくりの核としての新駅利用も考えていくべきだと思っています。



宮本たかしダイアリー



12月議会代表質問議長席にて



第28回福井県歯科保健大会



昔選手、今、県フェンシング協会の会長として。オリンピック選手とオンガード!(構え!)



土木警察常任委員会県内視察



福井県消防学校第56期卒業式



福井県総合防災訓練



土木警察常任委員会にて